

# 教育ボランティアだより No.31

## ～一人一人の子どもと向き合うことの大切さ～

2022年1月11日 教育ボランティア委員会

### 甲府市立新紺屋小学校訪問・・・12月15日（水）

今回、訪問させていただいた甲府市立新紺屋小学校は、8学級、154名の児童が学んでいます。教育ボランティアの学生の皆さんは、それぞれの学年で教育支援活動をしています。

今回、2校時の国語の授業を参観しました。ここでは林さん（障害児教育コース4年）が、教育ボランティアとして活躍していました。一人一人に寄り添い、丁寧な支援をしていました。

#### ◇林さんに聞いてみました（後日、大学でのインタビュー）

##### 教育ボランティア活動をしようと思ったきっかけは何ですか。

1年生の頃から先生になりたいという気持ちが強く、早い段階から、小学生と関わる機会を増やしたいと思ったからです。また、特別支援学級と交流学級とのつながりに関心があり、どのように交流しているのかを知りたいと思ったこともきっかけの一つです。

##### 受入先の先生方から学んだこと、子どもたちから学んだこと

実際に子どもたち、一人一人のペースに合わせて関わっていくことの大切さを学びました。

##### 教育ボランティアをやってみてよかったと思うこと

いろいろな小学校に行けたことが良かったです。学校によって、子どもの様子は様々で、多様な子どもの実態や先生の関わり方をみて、学ぶことができました。また、先生方と子どものことについて話し合うことで、子どもを見る際の視点が広がったと思います。

##### 教育ボランティア活動を行う際、教育実習の前と後では何か違いがありますか？

教育実習前は、困っている子どもに対してその場だけの対応になっていましたが、教育実習後は、子どもの成長を長期的な視点で見た上で、どのように関わるとよいのかを考えて支援するようになりました。また、一人一人を見ながら全体を見ること、集団を意識して子どもを見るようになりました。

##### 教育ボランティア活動を始めようと考えている学生へのアドバイス

教育ボランティアを始めるかどうか迷っていたら、学校を知ることができるなどたくさんの学びがありますので、ぜひはじめてみてください。



<児童への学習支援の様子>



<2年1組の担任の先生と>

#### 三井 正彦 校長先生のお話

教育ボランティアの学生は、多忙な教育現場を支えてくれる大事な存在です。本校に来ている教育ボランティアの学生は、皆さんモチベーションが高く、児童一人一人に寄り添いながら、自然なサポートをしてくれています。教師として子どもと関わる楽しさや教職の素晴らしさを、多くの学生に伝えたいと思っています。

#### ◇防園を養えて

林さんが、生き生きと子どもたちと関わっている姿が印象的でした。また、教育ボランティア活動を通して、教師として大切なたくさんのお話を学んでいると思いました。日頃の教育ボランティア活動の受け入れや今回の学校訪問に際しまして、新紺屋小学校の先生方のご配慮に心から感謝致します。